

【賛成多数で可決・認定とされた議案】

議案番号	議案名	概要	賛成しなかった議員
議案第73号	津市コミュニティバスの設置及び管理に関する条例の一部の改正について	津市コミュニティバスにおいて、移動ニーズや利用実態を反映した路線の運行の見直しなどによる再編に伴い、路線、使用料等を変更するための所要の改正	滝勝弘、竹下幸智子 長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》今回のコミュニティバスの改編に当たっては、利用者や市民の声などの要望を反映しきれていない。合併前の旧市町村を越えた運行が設けられたり、利用料が統一されるなど評価すべき点もあるが、改編を市民に知らせ、市民の納得いく改編にしていくという点では、急な進め方であったし、行政の都合で進められたため、納得できない市民、利用者もいることなどから反対する。		
議案第83号	令和2年度津市一般会計補正予算(第7号)	基金管理事業、学校施設維持補修事業(小学校費)等の増、教育指導活動支援事業(中学校費)、教育指導活動支援事業(小学校費)の減による <b>7億4,403万円</b> の増額補正等	村主英明
	《反対討論 市民クラブ 村主 英明議員》ただ一点を除いて賛成であり、予算を成立させ、早期に実施するべきものと考えている。反対する「ただ一点」とは、「飲食事業者事業展開支援事業」である。本事業は、飲食事業者が津市センターパレスホールを新たな事業展開の場として活用できるよう支援するとされているが、飲食業に限らず、市内の多くの事業者に支援の手を差し伸べる必要性が高いにもかかわらず、対象事業者、支援内容、支援の受益者の制度設計には問題がある。再考を促す趣旨から反対する。		
認定第1号	令和元年度津市一般会計歳入歳出決算		滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子 渡辺晃一、岡村武 杉谷育生、川口和雄
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》コロナ禍以前から、令和元年10月の消費税増税もあり、市民の暮らしは厳しい状況が続いており、令和元年11月に予算要望をしたが、市民に寄り添う市政になっていない。公共交通は、コミュニティバスがあらかじめ限られた枠の中で考えられているため、住民要求に応えるものになっておらず、高齢者が使いやすい施策と合わせて充実させるべきである。高齢者外出支援では、シルバーエミカの交付に不公平感があり、該当年齢で必要とする全ての市民に渡るようにすべきである。子育て支援が求められている中、学校給食の無償化も実現していない。公立保育園の増設で、待機児童の解消を図ること。また、保育内容の充実と合わせ保育士の確保と処遇改善を図り、必要な人員は正規職員を増やすべき。「きれいなまちにしてほしい」との声を市民から聞くが、道路整備事業、公園維持事業は市民の要望に応えきれていない。地方自治体の役割は、市民の暮らしに寄り添い、誰もが幸せに生きられるまちづくりと同時に、国の悪政の防波堤になることである。以上の点から反対する。		
	《反対討論 津市民の会 渡辺 晃一議員》決算特別委員会で「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」の関連事業において審査における要望が出され、指摘事項と整理された。これら関連予算については、自身が委員長を務めた経済環境委員会で慎重に審査してきたが、審査が不十分であったと言われてるように受け取れる。決算特別委員会で当該関連事業を指摘事項としたことは、偏った見解による審査を踏まえた結果であり、当該事業そのものを否定しかねないものとして、慎重審査を求める立場から、指摘事項の取り下げを強く求め反対する。		
認定第2号	令和元年度津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算		滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子 岡村武
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》国の社会保障費切り捨て施策のもと、高すぎる国民健康保険料が国保加入世帯の市民の暮らしを圧迫している。平等割や均等割で払うのが大変な制度になっており、払えない方へのきめ細やかな対応がないまま、資格証明書を発行し、病院にかかりにくくしている。命を脅かす保険証の取り上げはやめるべきである。全ての加入者が安心して医療機関にかかれるようにすべきとの立場から反対する。		